

# 平成26年度 加茂市・南蒲原郡 生活科部 活動報告

部長 青木 恵

## 1 研究主題 「子どもの気づきを高める学習活動の工夫」

## 2 研究の概要

今年度は、5月に活動計画を立案し、8月に講演会を実施した。以下、8月に行った講演会についてその概要を記していく。

## 3 研究の実際（講演会）

- (1) 期日 8月26日（火） 14:30～16:00
- (2) 会場 加茂市立図書館和室
- (3) 参会者 生活科部員 8名
- (4) 内容 講演会「子どもの気づきを高める学習活動の工夫」

～やっぱり生活科はステキ～

講師 三条市教育委員会 小中一貫教育推進課  
統括指導主事兼管理主事 唐沢 実 様

5月に活動計画を立てた際に、部の構成メンバーが生活科の経験が少ないことがわかり、講師をお迎えして、生活科部のテーマに沿った研修をしたいという意見が出された。また、昨年度まで、身近にあるものを使ったおもちゃづくりなどの実技講習会が続いていたということで、今年は違う形で研修したいという意見も出された。そこで、三条市教育委員会小中一貫教育推進課の統括指導主事兼管理主事 唐沢 実 様を講師として迎え、講演会を行った。

「唐沢先生の生活科観はこのようにして生まれた」という話題の中では、唐沢先生が今までに勤務された学校で、どのように生活科とかかわってこられたかをうかがった。副題にある「やっぱり生活科はステキ」の通り、唐沢先生が生活科大好きで、子ども達と一緒に生活科を楽しんで来られたことが伝わってきた。また、「人とかかわる生活科」「かかわる人との互恵的な関係」「社会創造科の取組」などの話題についてうかがった後、「アサガオを育てよう」の実践について考えた。部員が2つのグループに分かれてディベート形式で話し合う活動を取り入れ、真剣に話し合いが行われた。また、「これからの生活科への展望」「特別支援教育の理念を生かした授業改善」などについてもお話いただいた。



## 4 研修を振り返って

唐沢先生のお話は大変楽しく、1時間半があっという間に感じた。その中で、子どもと関わり、子どもの思いや願いを大切にしながら学習活動を進めていくことの大切さを改めて感じた。また、「自学級では、どのように実践しようかな。」と、2学期からの生活科の授業が楽しみになり、気持ちを新たにに取り組むことができた。